

# 04 春闘推進ニュース

全労連ニュース速報 NO.791

2004/05/25

全国労働組合総連合  
TEL:03-5842-5611  
FAX:03-5842-5620

**許すな！ 雇用・賃金・年金破壊 守ろう！ 平和と憲法**

## 年金改悪法案、絶対廃案に！ 5. 25国会前座いこみ行動

年金改悪法案・有事法制の悪法阻止の国会座り込み行動が、25日の正午から15時半まで、参議院議員会館前で行われました。

全国から集まった参加者は、年金者組合を中心に2300人を超えました。議員の未納・未加入問題による世論を反映してか街頭宣伝でも、今までにない反応が返ってくるとの報告がありました。

署名も100万筆を越えました。

### <主催者挨拶・全労連熊谷議長>

今回の年金改悪案は数十年に渡り、保険料を引き上げられ、給付を引き下げられる内容だったが、さらに与党案がまったくの嘘とごまかしであったことが明らかにされたことで、国民に怒りが広がっている。

内閣の中に7人もの未納・未加入大臣がいる。年金の制度・指導する立場の人間が、未加入・未納であったことにも同様に怒りが広がっている。

3党合意もとんでもない内容で、6、7割の世論が廃案の声。われわれの運動の反映だと確信したい。

日経の世論調査でも自民党支持層の半数が反対している。政府はきっぱりと廃案にするべきだ。

さらに許せないのは自・公・民の3党で有事法案が可決された。社会保障を改悪し、国民を戦争に駆り立て、9条改悪、年金改悪と絶対に許せない。世論を広げ、断固としてたたかきましょう。

## 国会報告

### <共産党・池田幹幸参議院議員>

年金法案が参議院に回ってきて審議が始まっているが、野党の中でいい雰囲気生まれてきた。廃案に追い込むたたかいを進めようといった雰囲気になってきた。

副大臣による国民年金未納問題を追求していきたい。問題は強制加入後の後に未納だったこと。極めて重大で、辞めるべきだと追求している。各野党ともに責任問題として徹底追求していく。

しかも、衆議院通過後に未納問題を発覚させるとは、何という姑息な手段か。閉会までに日にちも少なく、廃案に追い込める可能性はある。

### <共産党・井上美代参議院議員>

廃案にするまで頑張る。年金法案は役に立たない。衆議院で出てこなかった問題が参議院で出てきている。このような法案は絶対に許せない。廃案の可能性でも出てきている。

与党は3日に採決しようとしている。地方公聴会を2ヶ所でやり、中央公聴会をすぐにやろうと言うが、誰がだまされるか。(公聴会開催を)断じて許すわけにはいかない。

3日の採決は断じて許さない。その後はサミットが始まるので、首相はゆっくりしてればいい。大臣に代わって答弁する副大臣の未納・未加入問題が放置されたままで、審議をすすめるわけにはいかない。廃案にするまで全力で頑張る。

---

## 決 意 表 明

---

### <大阪労連・神谷事務局次長>

本日の行動には大阪から約**100**名が参加している。参加者の半分は夜行バスで駆けつけた年金者組合の仲間だ。大阪労連では**200**万枚のビラを刷り、新聞に折り込んだ。結果、**6000**通の署名ハガキが集まった。

地域で訪問活動を行っているが、宗教団体のポスターのある民家も訪問している。多くは門前払いだが中には快く署名をしてくれた。

ターミナル宣伝でもビラの受け取りは今までの倍となり、廃案の訴えは高まっている。

ハガキ署名を1通紹介したい。「法案が通らないことを願うのみです。どうすればいいのかわからないが、ハガキを書くことにした。反対デモにも参加できればと思います」

---

## 5. 25 参議院厚労委員会傍聴報告

---

参議院厚生労働委員会は**25**日、森、谷畑両厚生労働副大臣の責任を明確にするために、審議冒頭に両副大臣に所感をもとめ、各会派**10**分づつ副大臣への質問時間を上乘せしての質疑となりました。また、与党は採決の道筋をつけるために地方公聴会と中央公聴会の日程の予定を入れることを提案していましたが、前日**24**日の厚生労働委員会議事懇談会では、野党が副大臣の未納問題が解決しないまま、法案の出口を決めるような提案はのめないとして拒否。**25**日の委員会審議終了後に、与党から再び理事懇談会で公聴会問題の提案がなされる予定です。

**25**日の委員会審議では、与党の「年金保険料の納付率向上のためには何が必要になっているのか」との質問に、厚生省は「納め忘れを防止するために、年6回の催促状を出している」「年金制度に対する信頼の確保」「支えあう制度という認識を若い世代にも持ってもらおう」と応答しました。これは、そっくり副大臣に受け止めてもらわなければなりません。その上できっぱり責任を取ってもらうことが、法案審議の大前提であることがいっそうあきらかになっています。

---

## 全国から国会最終盤の大宣伝行動を

## 年金パネルは選挙期間中も活用できます

---

年金改悪法案の国会審議が重要局面を迎えています。

